

# 事例研究報告

## 特別支援学校小学部児童の 自立した活動のための指導

# 児童の実態

- 小学部 自閉症
- iPadで音楽を聴いたり、動画を見たりすることが好き。
- 簡単な言葉を理解することができるが、活動をはじめには声かけや身体的支援が必要である。
- 集団活動や、初めての活動・場所・人が苦手。
- 自分の思い通りに人を動かそうとすることがあり、制止されると大声を出す。
- 身近な特定の大人に甘えたり、他害行動をしたりする。
- 要求や報告はカードと言語で「○○します(いきます)」  
「できました」と伝えることができる。
- 不明瞭な発音やオリジナルの言葉があり、要求が伝わりにくいことがある。

## 保護者の願い

- ・状況を理解して我慢や感情のコントロールができる。
- ・自分の意思を言葉で伝えられる。
- ・周りの人に迷惑をかけない。

## 教員の願い

- ・一人でできる活動を増やす。

## アドバイザーからの助言

- ・ 状況が分からないので、声を出したり離席したりする。
- ・ 声かけは苦手で、内容もあまり理解できていない。
- ・ 活動のきっかけがすべて人からの身体的支援になっている。



『場面を限定して、教員からの身体的支援がなくてもカードで活動できるようにする。』

『指導場面は楽しみな活動の前に設定する。』  
(行動後に好子がある方が定着しやすいため)

同時に、

『対面学習で確実にできる模倣動作  
(日常生活に生かせる動き)を増やす。』

# 助言を受けての見直し

指導目標を

『給食前に、トイレカードを見て  
一人でトイレに行くことができる。』

と設定した。

同時に、

対面学習で動作模倣を指導することにした。

# 指導の手続き

## 【STEP1】

- ・給食前に、教員がトイレカードを提示する。
- ・カード提示後、身体的支援無しで席を立ち、トイレに行くことができるかを記録する。



トイレカード

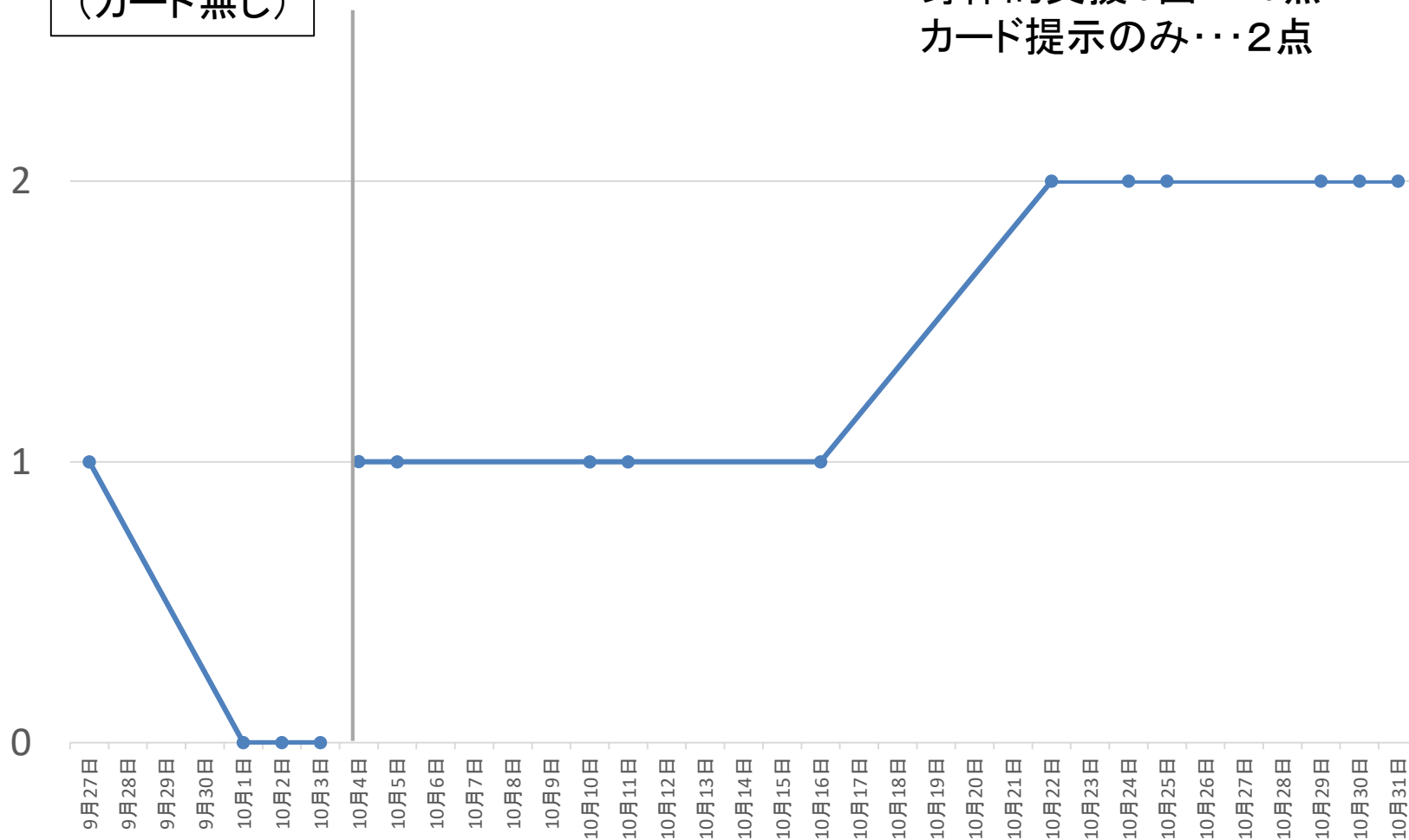
| 点数 | 評価基準                  |
|----|-----------------------|
| 0点 | 身体的支援2回以上で席を立つことができた。 |
| 1点 | 身体的支援1回で席を立つことができた。   |
| 2点 | カードの提示のみで席を立つことができた。  |

# STEP1の記録より

ベースライン  
(カード無し)

STEP1 指導開始

身体的支援2回以上…0点  
身体的支援1回…1点  
カード提示のみ…2点



# 指導の手続き

## 【STEP2】

- ・給食前に、教員がトイレカードを手渡す。
- ・トイレカードを持ってトイレまで行き、入り口のカードポケットに入れることができるかを記録する。
- ・カードを渡してトイレから帰ってくるまでの時間も記録する。

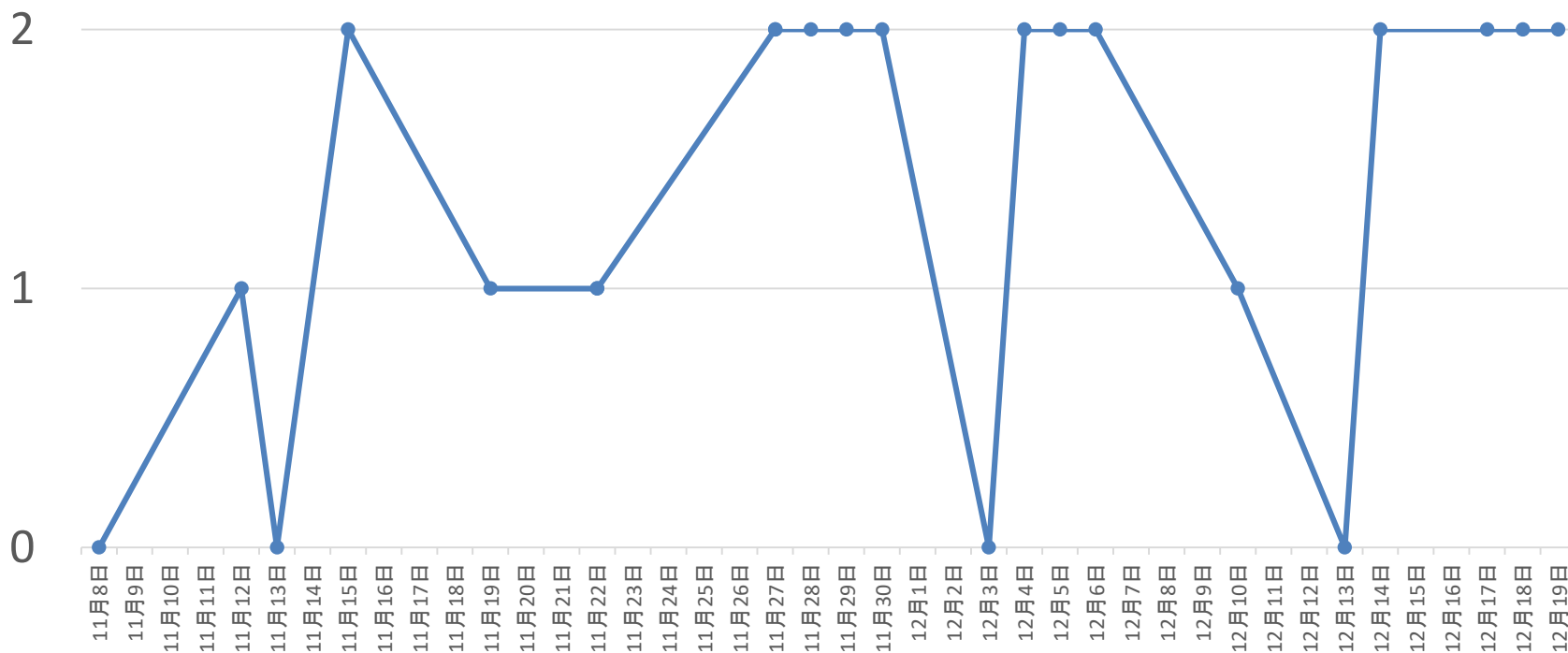
| 点数 | 評価基準                         |
|----|------------------------------|
| 0点 | 身体的支援でトイレカードをポケットに入れることができた。 |
| 1点 | 指さしでトイレカードをポケットに入れることができた。   |
| 2点 | 支援無しでトイレカードをポケットに入れることができた。  |



# STEP2の記録より

プロンプトの点数(STEP2)

身体的支援・・・0点  
指さし・・・1点  
支援無し・・・2点



# STEP2の記録より

タイム(STEP2)  
(カードを手渡してから教室に帰ってくるまで)



# 対面課題(動作模倣)の記録より

## できるようになった動作

- ・拍手
- ・座って礼
- ・頭の上でマル
- ・胸をどンドン(ゴリラのまね)
- ・万歳
- ・万歳→拍手
- ・万歳→頭に手をのせる
- ・おはしで机をたたく
- ・おはしで体をたたく(頭・ひざ)

## 練習中の動作

- ・手で左右逆の耳をつまむ
- ・手で左右逆の肩をトントン
- ・舌を出す
- ・口の形の模倣  
(あ・い・う・え・お)

# 指導の成果

- 指導を通して、他の場面でも身体的支援無しで動ける場面が増えてきた。
- 模倣ができるに伴い、他の場面でも教員の動きを模倣し、運動や体育座りができるようになった。
- 以前は課題中に不安定になると途中から戻れなかったが、切り替えて最後までできるようになった。また、課題に取り組む時間も長くなった。

# ここが成功のポイント

- 「給食」という好子の前の活動に設定することで、児童のモチベーションが高まった。
- 指導場面をトイレに絞ることで、毎日指導でき、また一貫した指導を続けることができた。
- 「ほめる」ことを心がけ、できるようになったことをすぐにほめた。